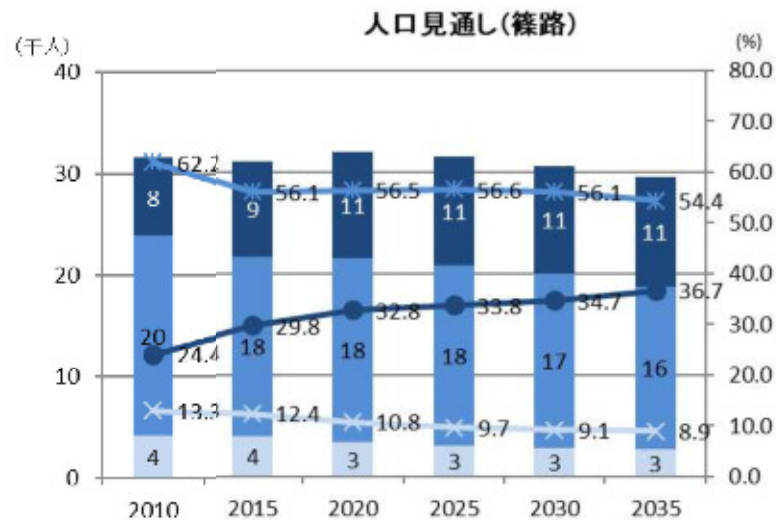
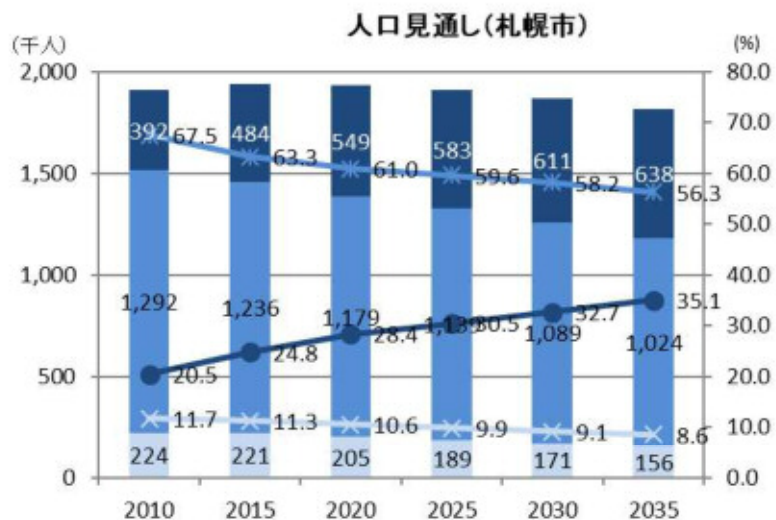


2 篠路駅周辺地区の現況

人口

札幌市の人口は今後減少見込みであり、篠路地域も今後減少する見込みである。

札幌市、篠路地域ともに、生産年齢人口は減少するが、老年人口は増加見込みであり、高齢化の進行が予想される。



人数

- 老年人口 (65歳~)
- 生産年齢人口 (15~64歳)
- 年少人口 (0~14歳)

割合

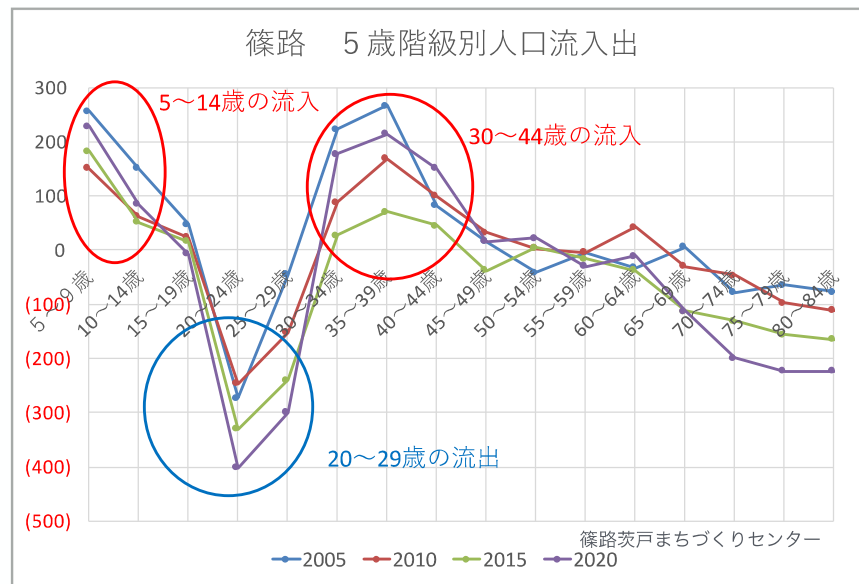
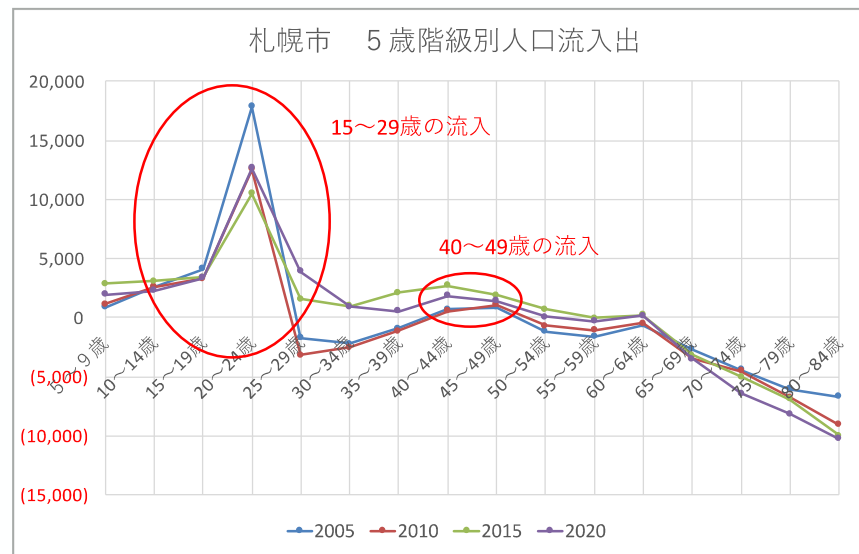
- 年少人口 (0~14歳)
- 生産年齢人口 (15~64歳)
- 老年人口 (65歳~)

出典：札幌市「将来推計人口に基づく地域分析調書」国勢調査をもとに作成

2 篠路駅周辺地区の現況

人口

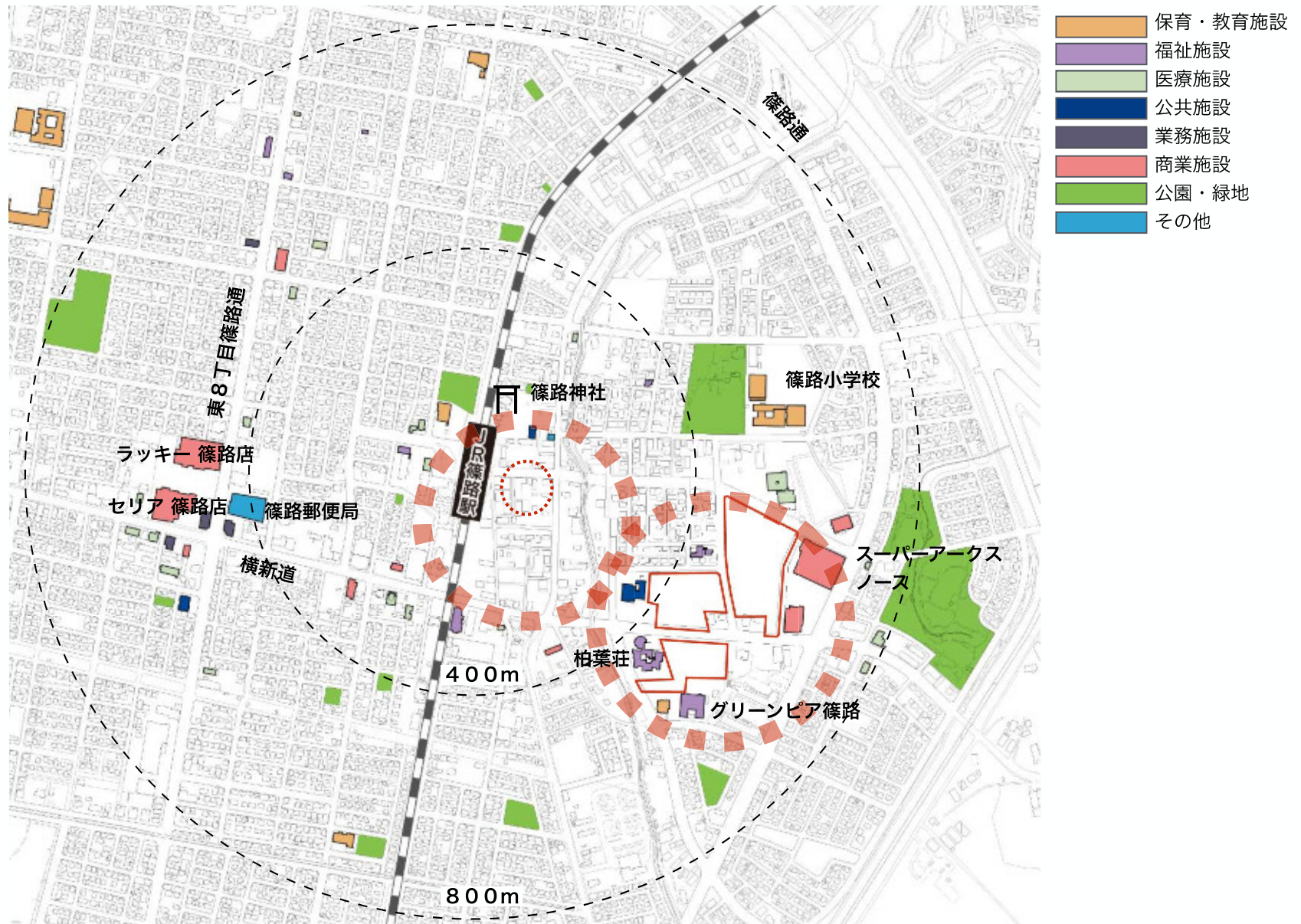
人口の流入出を5歳階級別にみると、札幌市と比較して篠路は5～14歳、30～44歳は人口流入しており、20～29歳は特に人口流出している。



出典：住民基本台帳人口より作成

2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設（一覧）



2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設

【医療施設】

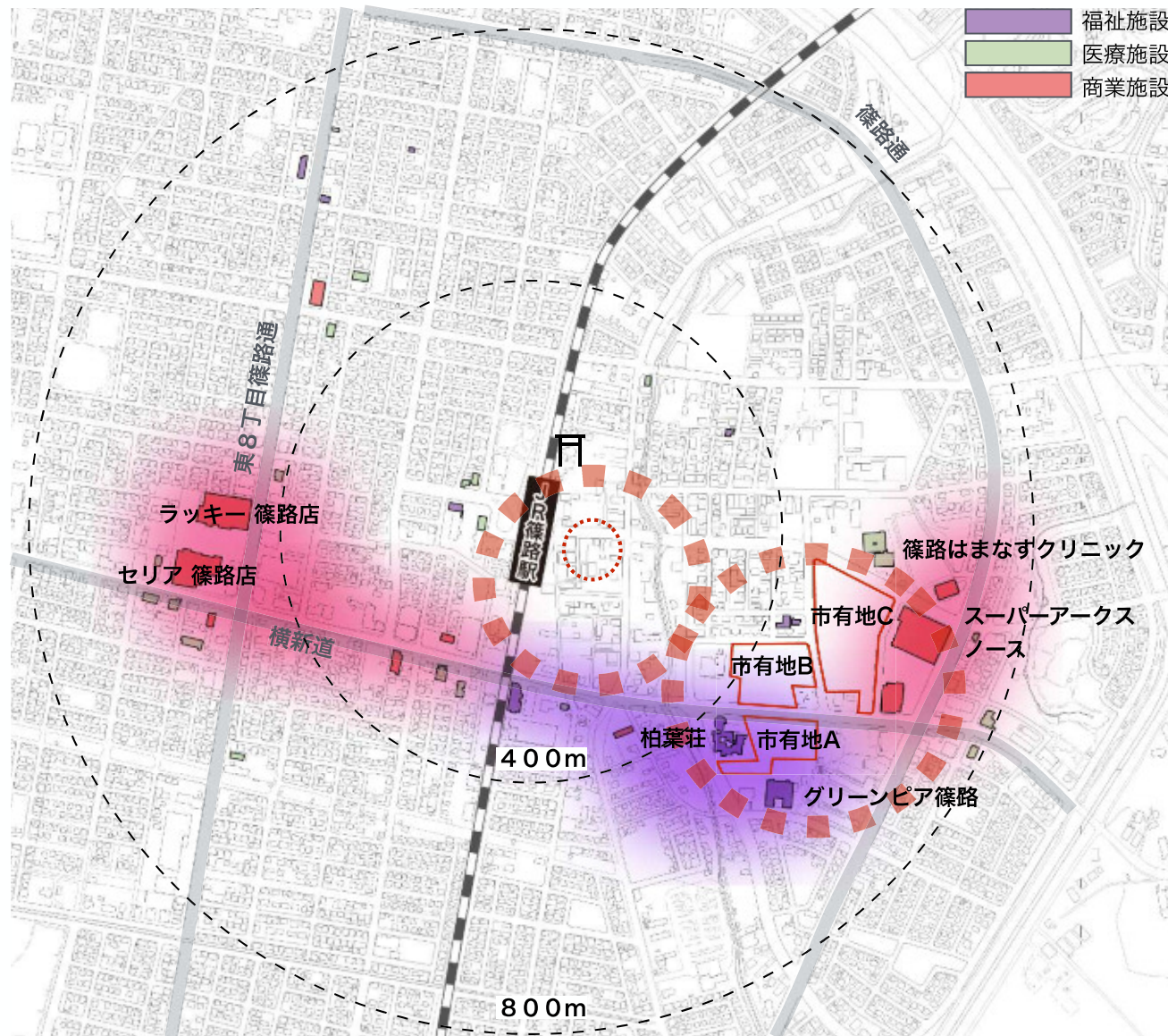
地区全体に点在している。

【福祉施設】

市有地A街区を中心に「地域福祉モデルゾーン」として機能集積を進めてきた。特に駅東側には介護サービスに関連する施設が多く集まる。

【商業施設】

東8丁目通や横新道沿いに多く、駅東側には少ない。



2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設

【保育所】

徒歩圏内に適正に立地している。
(2020年4月現在、札幌市待機児童数0人)

【小学校】

北区の小学校は近年児童数が増加しているのに対し、地区周辺は児童数が減少傾向にある。

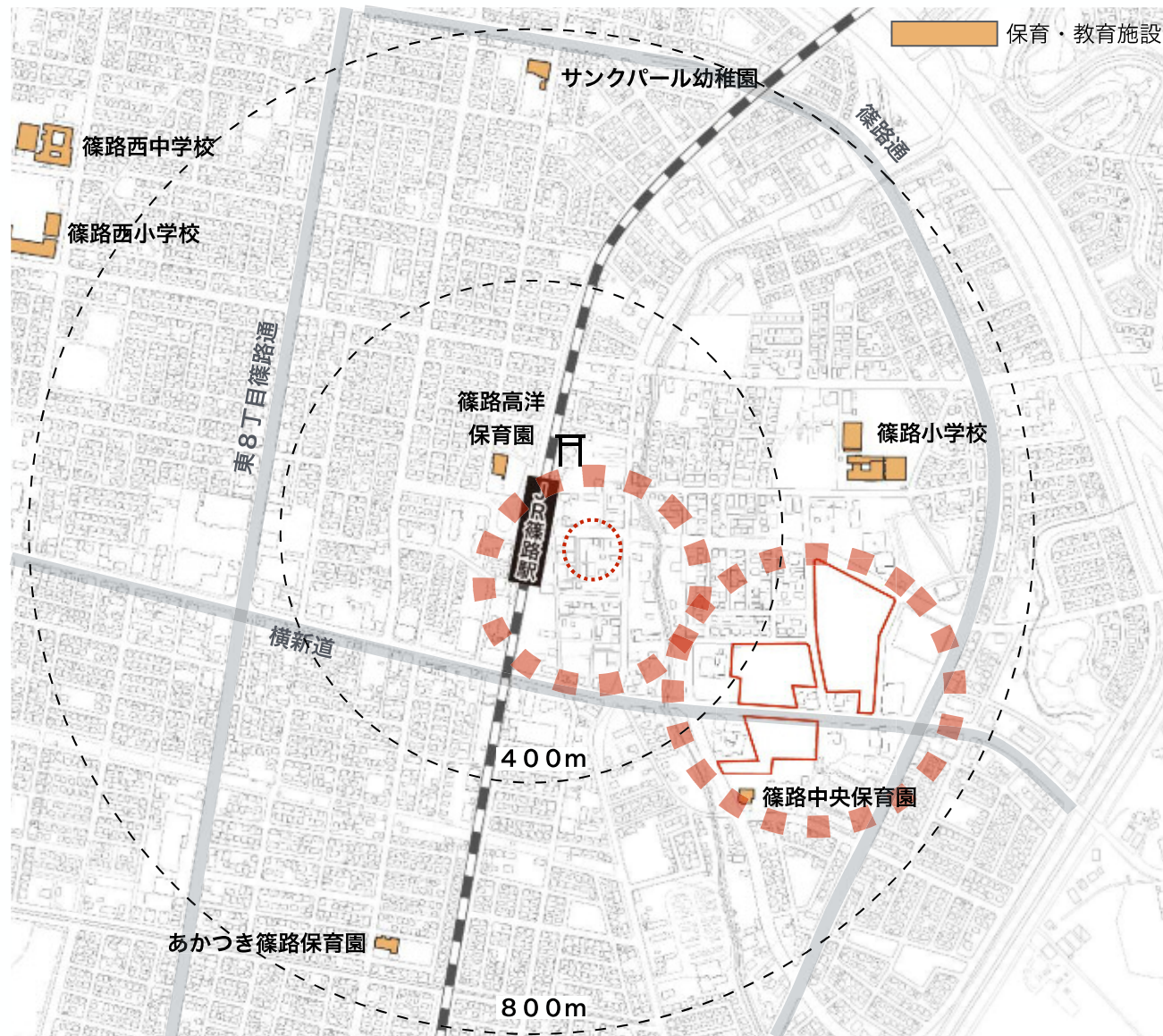
(次ページ参照)

【中学校】

北区の生徒数は減少傾向にあるのに対し、地区周辺の生徒数もわずかに減少傾向にある。

(次ページ参照)

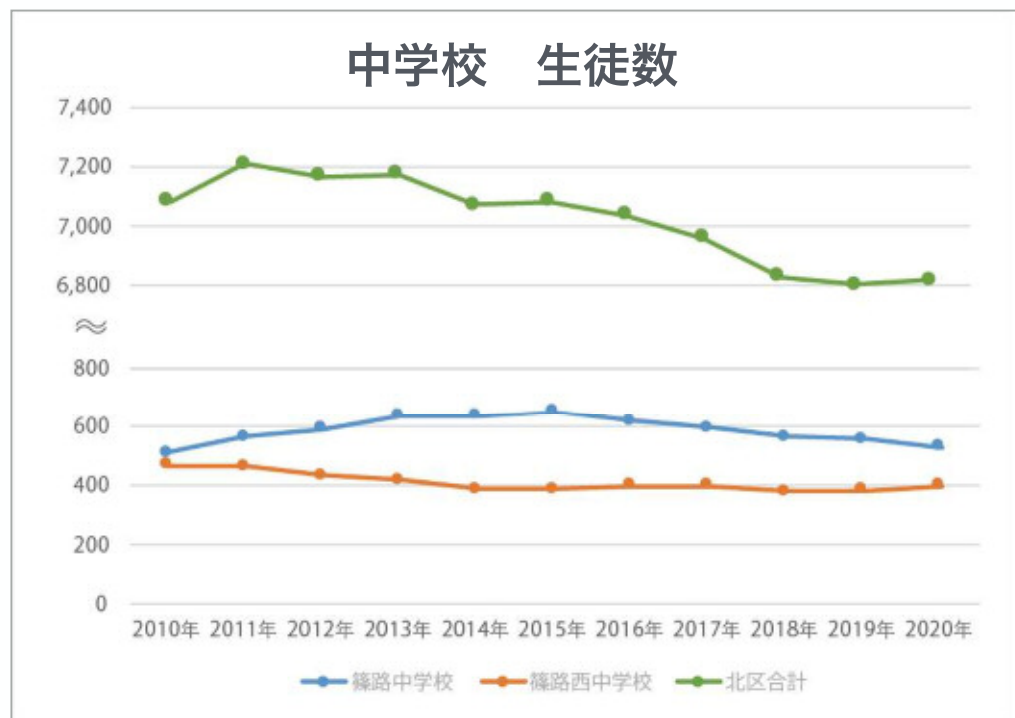
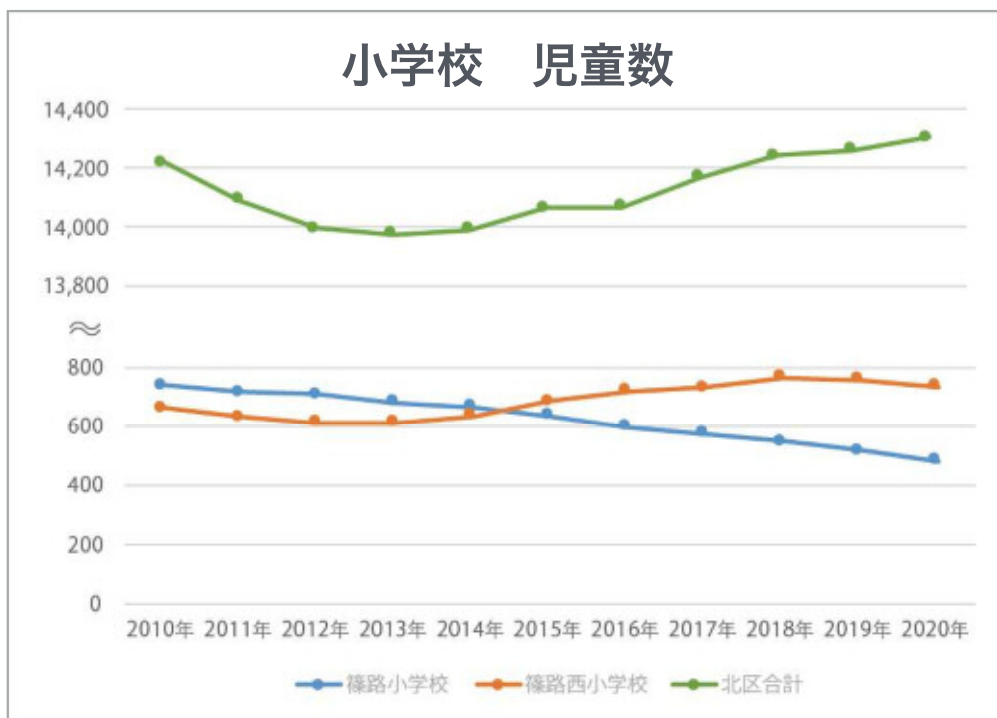
【高校・大学】なし



2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設

【小学校の児童数・中学校の生徒数（参考）】



出典：札幌市 教育データ集より作成

2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設

【市民利用施設】

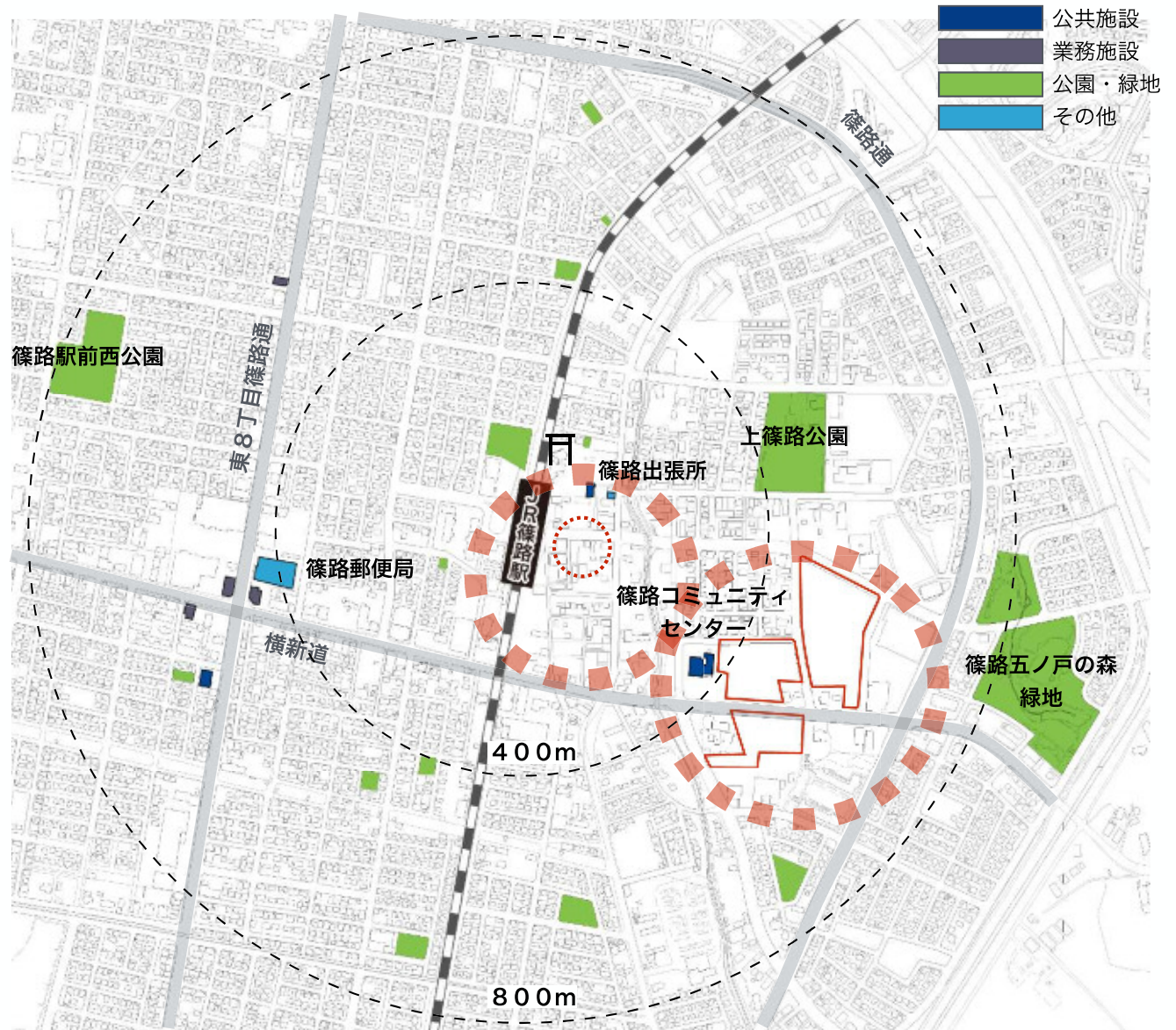
地区内には以下の施設が存在する。

- ・ 篠路出張所
- ・ 篠路コミュニティセンター

また、郵便局・銀行などは、横新道と東8丁目篠路通交差点に集積している。

【公園・みどり】

篠路駅前西公園、上篠路公園や篠路五ノ戸の森緑地をはじめとした公園、伏籠川や旧琴似川沿いの緑道など緑豊かな環境である。



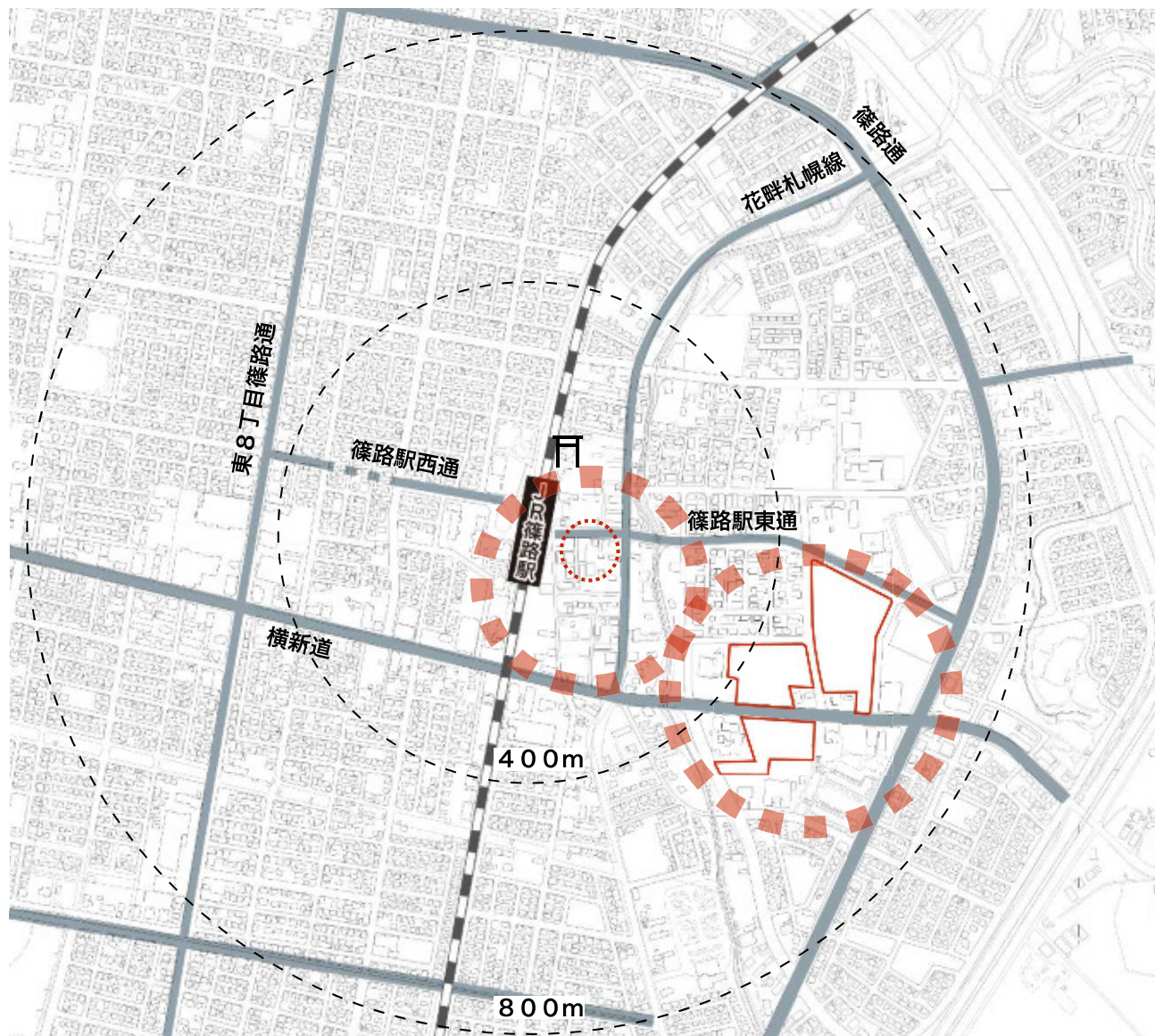
2 篠路駅周辺地区の現況

地区周辺の主な施設

【道路網】

南北方向に東8丁目篠路通、篠路通が、東西方向に篠路通、横新道が概ね1km間隔で整備されており、道路網の骨格をなしている。

駅周辺と骨格道路を結ぶ役割を東西駅前通や花畔札幌線が担っている。



2 篠路駅周辺地区の現況

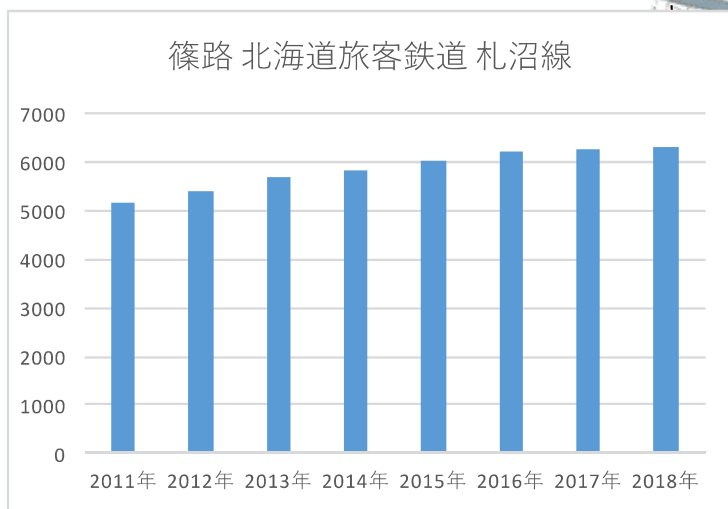
地区周辺の主な施設

【バス】

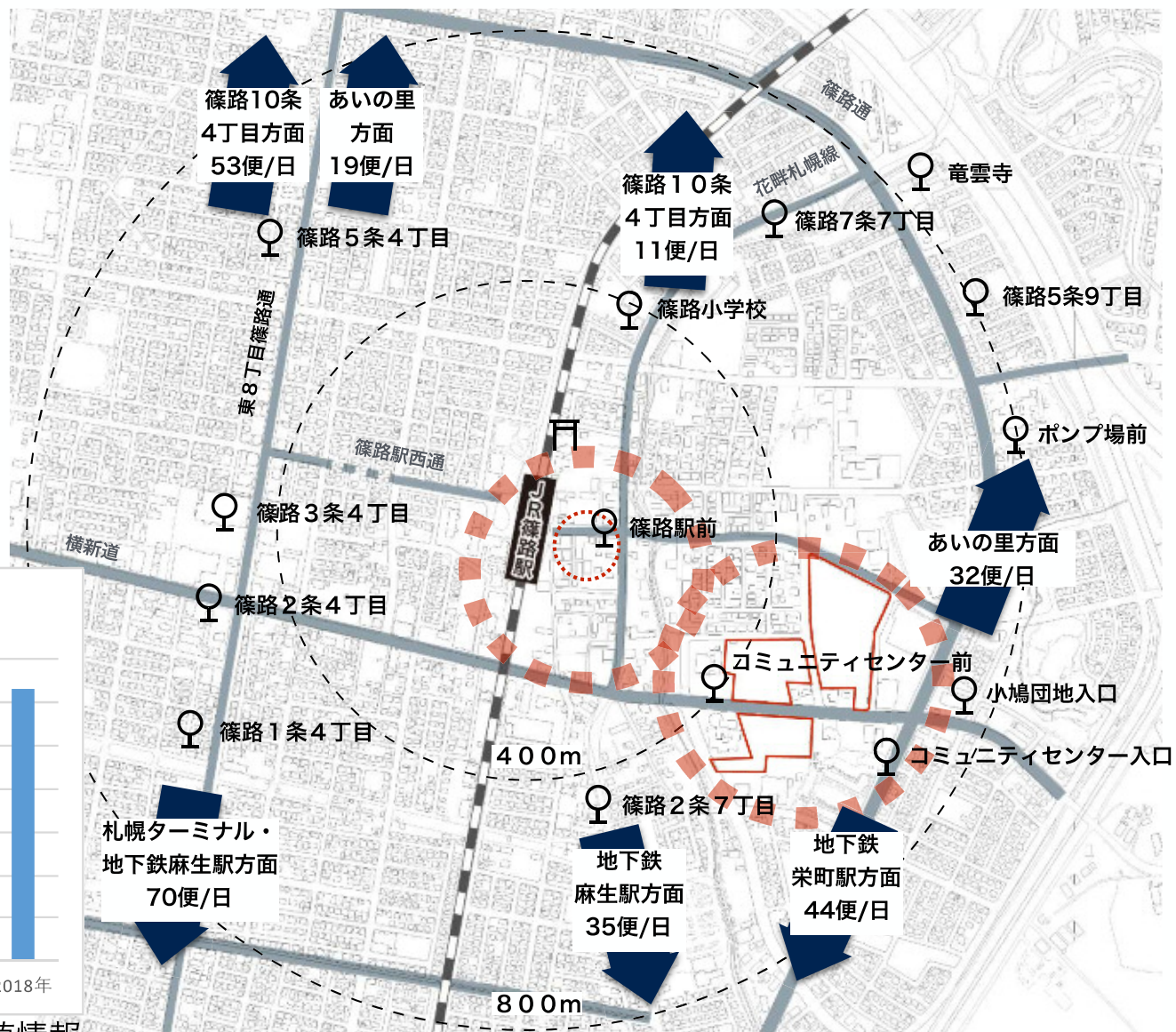
札幌ターミナル・地下鉄麻生駅・地下鉄栄町駅方面の路線があり、地下鉄に乗り換え可能である。

【鉄道】

篠路駅の乗降客数は増加傾向にある。



出典：国土数値情報



2 篠路駅周辺地区の現況

用途地域

【駅前エリアの用途地域】

篠路駅東側は近隣商業地域に位置づけられている。

【東エリアの用途地域】

市有地は第一種低層住居専用地域および第一種住居地域に位置づけられている。

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

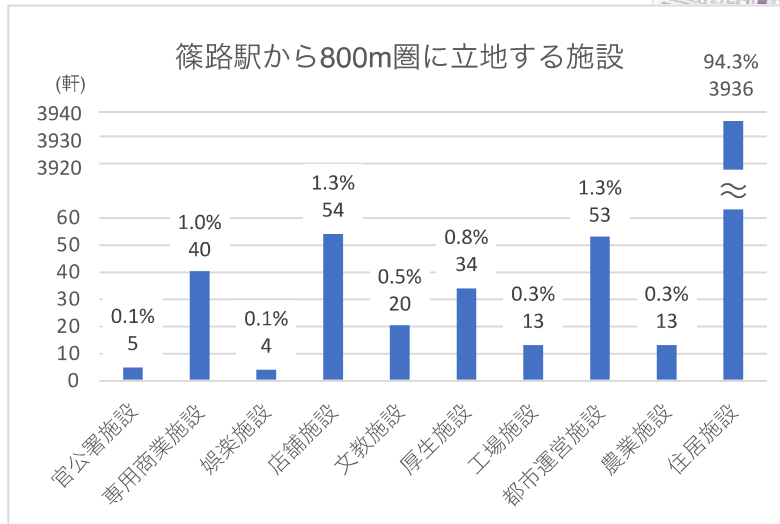
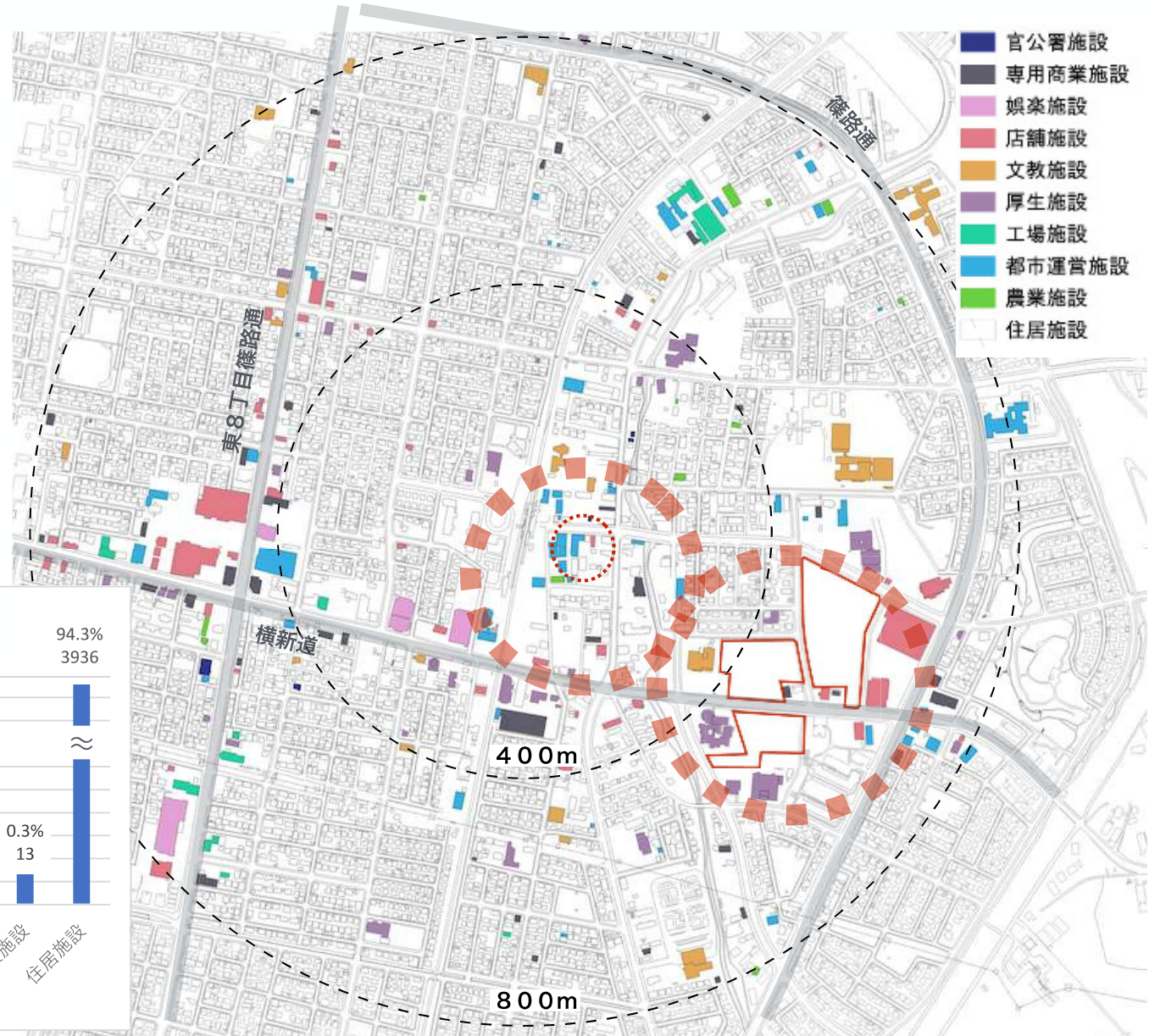


2 篠路駅周辺地区の現況

土地利用現況

篠路駅周辺地区（篠路駅から800m圏内）の土地利用は90%以上が住宅となっている。

住宅以外の用途は、横新道および東8丁目篠路通沿道を中心に店舗施設、都市運営施設（運輸倉庫施設等）などが立地している。



2 篠路駅周辺地区の現況（地域の意見）

地区全体に関する地域のみなさんのご意見（平成28・29年度のワークショップ）

平成28年度のワークショップでは、篠路地区全体および篠路駅周辺地区が「こうあって欲しい！」という想いを将来像および機能像に整理した「みんなの想い」としてまとめられました。

平成29年度は篠路駅周辺地区の将来像に関するアンケートを実施し、平成28年度のワークショップでとりまとめた将来像が地域住民のみなさんの意見と大きく相違ないことを確認しました。

また、「みんなの想い取りまとめ会議」では、みんなの想いを実現させるために必要な取り組みなどを検討しました。

【みんなの想い】の概要



平成29年度のワークショップの様子

2 篠路駅周辺地区の現況（地域の意見）

地区全体に関する地域のみなさんのご意見（平成30年度のアンケート）

篠路駅周辺地区（地区全体）に関するアンケート項目

【Q1】

これからの篠路駅周辺地区における施設や機能を考える上で、あなたが重要だと思うことは何ですか。（特に当てはまる項目3つまで）

「買い物環境の充実」が約5割で最も高く、次いで「高齢者にやさしいまちづくり」「子育てしやすい環境づくり」が3~4割で高くなっている。

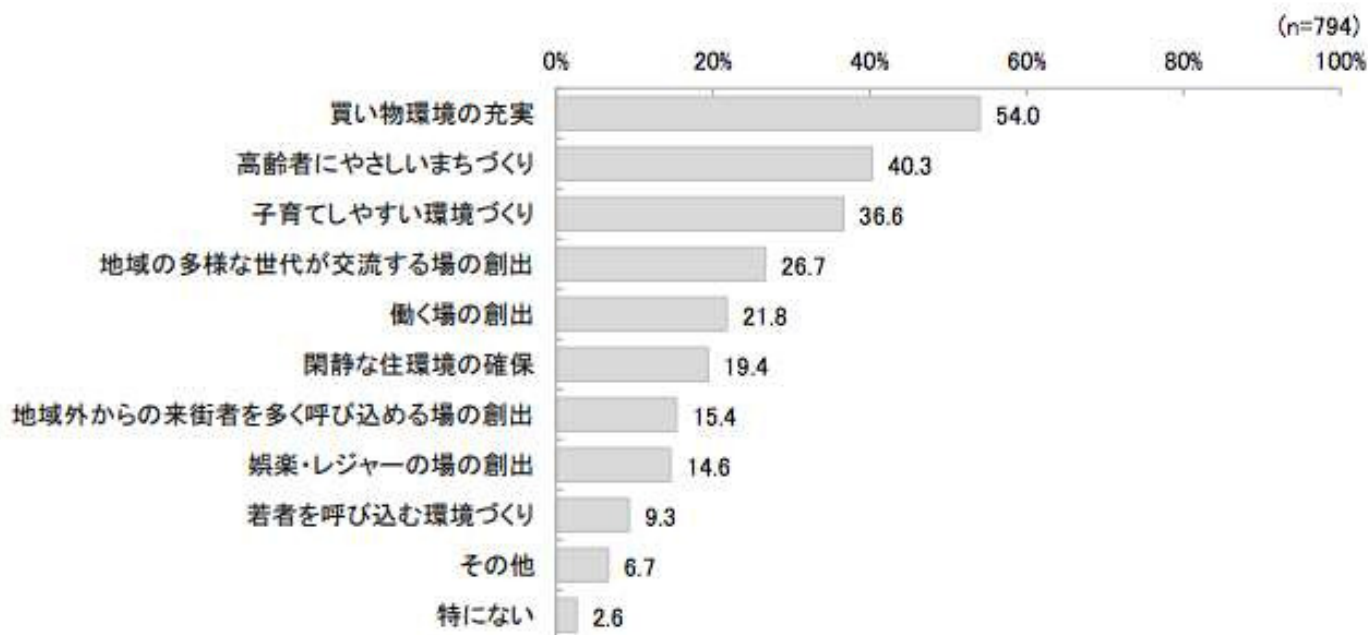


図9 篠路駅周辺地区における施設や機能を考える上で重要だと思うこと

2 篠路駅周辺地区の現況

現況の分析

強み・活かしていくべき点

- 150年の歴史、レンガ倉庫・篠路神社などの地域資源が豊富
- 篠路神社例大祭、篠路歌舞伎、藍染などの文化
- 住宅街としての閑静な環境
- 緑地・公園・川など緑豊かな環境

→若い世代が住み続けたくなる仕掛けが必要

→地域資源の魅力を共有・伝え続けることが重要

- 歴史のある商店街、地域主体の活動を行ってきた振興組合
- ランタンまつりやスノーフェスティバル等多様な団体による地域主体イベント

→日常的な地域コミュニティの強化が重要

弱み・改善していく点

- 生産年齢人口の減少、高齢化の進行
- 若い世代の流出増加・流入減少
- 新しい住民や来街者などへの地域資源の魅力発信が不足

- (基盤整備に伴い創出される新たな空間での活動検討)

暮らし

つなぎ 魅力

暮らし

エリアの特性

地域活動

2 篠路駅周辺地区の現況

現況の分析

強み・活かしていくべき点

- 土地区画整理や鉄道高架・道路事業による基盤整備
- 地区内に篠路出張所や篠路コミュニティセンターなどの公共施設がある

→地域交流拠点としての更なる利便性向上が必要

- 篠路8丁目通や横新道沿いをスーパーなどの買い物施設が集積
- 高齢者施設が多い

→にぎわい・交流の場の創出が課題

→利便性の高い居住環境など、子育て世代にも選んでもらえる環境が必要

弱み・改善していく点

- エリアに施設が点在し、駅前への機能集積が進んでいない

- 駅周辺は店舗数・賑わいの減少
- 市有地が未利用
- 交流できる場所が少ない
- アンケートでは買い物施設の充実・高齢者にやさしいまちづくり・子育てしやすい環境づくりが求められる



施設
・
土地の
状況